

議題 2) 令和 2 年度地方創生推進交付金実施計画の内容及び実施状況

1. 生活支援・支え合いサービス事業

地域住民が相互に支え合う体制づくりのため、高齢者等が気軽に集える交流拠点づくりを進めるとともに、地域や大学等と連携しながら支え合いの必要性と楽しさを実感できる、モデル事業を実施します。

また、各種関係団体とも連携し、生活支援に関するニーズの把握を進め、地域課題解決のために関係機関が、それぞれ何ができるかの整理を行うとともに、民間による支え合いサービスの提供や生活支援活動の実現に向け、交流拠点の環境整備や人材の育成と確保に取り組みます。

交流サロン運営費補助金を活用して運営している交流スペース「ふれあいの家」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により年度当初から閉所していましたが、6月13日から再開しています。

①生活支援・支え合いサービス事業（1, 300千円）

- ・講師謝礼 100千円（講習会の開催費用）
- ・補助金 1, 200千円（サロン等運営費補助）

2. 多世代交流の仕組みづくり事業

各区や民宿、空き店舗など地域資源を活用し、引き続き大学と協働した健康づくり講座やオーリーブなどを生かした交流など他の創生事業とも連動した交流事業を実施し、高齢者が生きがいを持ちながら生活できる基盤づくりを進めます。

また、地域おこし協力隊や介護事業者、地域住民など多様な実施主体が多世代交流事業、支え合い事業などを自主的、継続的に実施する体制づくりと担い手育成を進めます。

新たに多世代交流の拠点として整備した新町の旧かぐや邸は、施設や設備の整備が概ね終了し使用できるようになりましたが、現在は新型コロナウイルス感染拡大の影響により人が集まる行事などを差し控えている状況です。

三育学院大学に委託し実谷・七本地区で実施していた「寄茶場」は、新型コロナウイルス感染予防の観点から通常どおりの実施は中止し、代替として、学生と高齢者、高齢者と孫世代と一緒に実施できる手作り脳トレーニングを作成しました。「寄茶場」は実谷・七本地区の方と相談し、12月18日に再開する予定です。

②多世代交流の仕組みづくり（5, 390千円）

- ・講師謝礼 50千円（講習会の開催費用）
- ・交流拠点維持管理費 300千円（光熱水費 消耗品費）
- ・通信費 120千円（電話回線使用料）
- ・保険料 60千円（事業実施時参加者保険料及び施設保険料）
- ・交流事業委託料 3, 000千円（生涯学習、セカンドキャリア、交流プログラム等）
- ・浄化槽維持管理 100千円
- ・施設等借上料 760千円（拠点及び駐車場）
- ・負担金及び補助 1, 000千円（交流拠点整備費補助金）

3. 特産品の開発事業

産品開発のため、引き続きオリーブ苗木の普及と良質なオリーブ栽培が行えるよう講習会等を実施します。また、新鮮な地元食材や多様な地域産品を活用した特産品の開発を目指し、地域における農水産物の6次産業化への可能性を広げるため、産品開発及び交流拠点施設において、講習会や品評会などの開催を検討、実施します。なお、産品開発及び交流拠点施設は、特産品の開発だけでなく、食を通じた情報発信や地域における交流の場としての活用も図ります。

今年度については、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から、産品の開発や各種講習会など、全て未実施となっています。

③特産品の開発事業（1, 650千円）

- ・講師謝礼 50千円（講習会の開催費用）
- ・借上料 1, 200千円（作業場及び土地の借上げ料、町が借上げ事業者へ賃貸）
- ・作業場借上施設維持経費 400千円（光熱水費、電話料等）

4. 移住・交流促進事業

○都市住民を対象とした移住定住事業

御宿町への移住希望者が、お試し居住用住宅や定住化ツアーを利用することで、生活体験、就業活動、住居探しといった町で生活する上で必要な情報を得る機会が得られ、利用者には移住に向けた行政サービスの説明や質問などの移住相談を実施し、イベントや地域活動などがある場合は、積極的に情報提供を行い地域住民との触れ合う機会を創出することで、移住者の増加を目指します。

今年度は新型コロナウイルス感染防止対策により、定住化ツアーや移住相談などの事業が未実施となっています。

○特色ある教育プログラム事業

（1）中学生週末学習塾の開講

主体的な学習の仕方を身に付けさせ、基礎的・基本的な学力の確実な定着を図り、卒業後の進路の実現に向けた実践的な学力を身に付けさせることを目的とする。

今年度は新型コロナウイルス感染防止対策による臨時休校となったことや、県立高校入試の実施方法が変更となることから、少しでも受験への対策となるよう学習時間を延長しました。

- ・事業内容 (株)市進の講師による生徒の学習レベルに合わせたグループ指導と個別指導で学力向上を目指す。
- ・対象学年 御宿中学校3年生（英語・数学・理科）
- ・開催場所 役場保健センター
- ・指導回数 毎週土曜日午前2時間＋午後2時間／全25回の予定（7月～2月）④

移住・交流促進関係（5, 250千円）

- ・講師謝礼 50千円（講習会の開催費用）
- ・企画費 500千円（移住体験ツアー）
- ・委託料 3, 500千円（交流プログラム実施 532千円、
特色ある教育プログラム実施 2, 968千円）
- ・借上料 1, 200千円（お試し居住用住宅の借上げ料）

5. 情報発信サイト構築事業

平成30年度に御宿町情報発信ウェブサイト運営協議会を立ち上げましたが、事業化に至らず、協議会は解散されました。事業の継続について検討してまいります。御宿の魅力的な情報を発信することにより、御宿町へ訪れる方々を増やししながら、移住者の増加や雇用の創出につながることを期待されています。

今年度は、国が運営している移住定住サイト「移住ナビ」において、御宿町の紹介内容を更新する予定でしたが、そのサイトが終了してしまったため、今後検討します。

⑤情報発信サイト構築（3,320千円）

- ・委託料 3,320千円（サイト作成委託費、サイト管理運営委託費 サーバール料含む）

6. サービス付高齢者住宅事業者・介護事業者等誘致セミナー実施事業

事前に関連業者に対して御宿町への関心度調査を行い、関心度の高い業者に対し、説明会や現地視察などを実施します。

⑥サービス付高齢者住宅事業者・介護事業者等誘致セミナー（1,000千円）

- ・委託料 1,000千円（セミナーの実施、アンケート調査等を実施委託）